

「中学生投手の投球制限統一ガイドライン」の適用例

※レギュラー・ジュニアの部

\	第一 日 目	第二 日 目	第三 日 目	備 考
投手A	80	0	80	80球投げた翌日には登板していないため、翌々日には80球投球できる。 (打者終了時に80球を超えても、1試合分の最大カウント数は80球)
投手B	80	40	休	第一日目80球、第二日目40球で連続する2日間で120球となったため、 第三日目は投手・捕手として出場できない。
投手C	40	40	35	3日間連続40球以内(3日目は35球以内)であれば登板可能。
投手D	40	45	休	第一日目、第二日目で80球を超えたため、第三日目は投手・捕手として出場できない。
投手E	40	40 40	休	第一日目、第二日目で40球以内の3連投をしているため、 第三日目は投手・捕手として出場できない。
投手F	30 50	休 ※ 捕 手 可	40 40	ダブルヘッダーで80球以内であっても、どちらかの試合で40球を超えた場合は、 3連投できない。 ※連続した2日間で80球以内なので、翌日は捕手としては出場できる。
投手G	40 40	40 休	休	3連投は40球以内なので可能であるが、第二日目2試合は投手・捕手として 出場できない。 また、3連投する場合、1試合目・2試合目は打者の途中であっても40球以内に 交代しなければならない。
投手H	85	40	休	第一日目で、最後の打者で80球以上投げた場合であっても、二日目は40球投球可能。 第一日目、第二日目で80球を超えたため、第三日目は投手・捕手として出場できない。

【小学生・中学生 共通事項】

※打席の途中で制限数がきた場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。

制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。

※数字は投球数。「休」は投手・捕手として出場できない日。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。